

令和7年度 加美南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)			平均IRTスコア
実施月日			国語	数学	国語	数学		理科
3 年	学校	113	51	42	6.1	9.4	学校	487
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	大阪市	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年 9月2日	学校	107	67.2	52.3	50.6	52.1	55.1	4.5	3.1	9.3	5.4	5.7
	大阪市	—	64.8	51.5	54.3	46.5	54.4	6.1	5.8	11.1	9.4	6.5
	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	46.0	53.2	6.8	6.5	12.1	11.0	7.4

※ 3年生の理科はB問題を選択

令和7年度 加美南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

＜国語＞

平均正答率は51％で大阪市平均より1ポイント下回った。その中でも、A話すこと・聞くこと、D読むことに関しては、ほぼ大阪市と変わらなかったが、言葉の特徴や使い方に関しては、大阪市より4.6ポイント下回った。

＜数学＞

平均正答率は42％で大阪市平均より4ポイント下回った。しかし、平均無解答率は9.4％で大阪市平均より1.8ポイント低かったので、あきらめずに解く姿勢は大阪市の平均と比べるとあるように思う。

＜理科＞

平均IRTスコアは487で大阪市の489より少し低い。本校のIRTスコアの1、2の割合は大阪市、全国より低く、3の割合が高いことから、日々の基礎定着のための小テストの取り組みで、理科が苦手な層の底上げができていると分析できる。

【今後に向けて】

＜国語＞

日々の授業の中で、グループワークを多く取り入れていることもあり、話したり、読んだりする力についてはついてきていると考えられる。今後は、敬語の使い方など、言葉の使用に着目した取り組みが必要だと考える。

＜数学＞

授業に関する独自のアンケートでは、授業について「わかりやすい」と「まあわかりやすい」を合わせると86％の回答を得られている。その理解していることを定着していく方策を講じていく必要がある。

＜理科＞

日々の小テストにより学力の底上げはできているが、本校のIRTスコアの4、5の割合は大阪市、全国より低く、正答率の高い層が少ないので、今後はより思考力を測る問題の正答率を上げる取り組みを入れていく必要がある。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

【成果と課題】

＜国語＞

平均点は大阪府と比較して、3.0ポイント高かった。本校は60～79ポイントの層が多く、24ポイント以下の生徒が少なくなっている。これは、漢字などの覚えるべき内容の繰り返し学習ができている結果だと考える。

＜社会＞

平均点は大阪府と比較して、1.1ポイント上回った。本校では30～39点の生徒が多く、依然苦手科目とする生徒の多さがうかがえる。一昨年度・昨年度との比較では、繰り返し学習の成果が出たといえる。

＜数学＞

平均点は大阪府と比較して、3.3ポイント下回っている。数学に関しては苦手意識を持っている生徒が多く、小学生の頃からの積み重ねの教科であるので、問題を正解に導く力を伸ばすのが難しい。

＜理科＞

平均点は大阪府と比較して、6.1ポイント高かった。本校は85～89と45～55ポイントの層が多く、19ポイント以下の生徒がほとんどいないため、大阪府平均よりも本校の平均のほうが高くなっている。低ポイント層が少なく中間層が多いのは、授業で行っている小テストによる基礎知識の定着の成果であると考えられる。

＜英語＞

平均点は大阪府と比較して、1.9ポイント高かった。本校20点台と40点台の生徒の割合が府平均より多い。全体的に選択肢の問題の正答率が高く、基礎的な知識の定着は感じられるが、英語で表現したり、文章の要点や概要を把握する力を養っていく必要がある。

【今後に向けて】

＜国語＞

ほとんどの設問で大阪府の平均程度点数が取れているが、思考判断表現、特に適した内容への言葉の書き換えが平均を下回っていたので、授業の中で、自ら考え、内容の理解ができるような取り組みを展開するようにしていく。

＜社会＞

地理の世界・日本、歴史の前・後期の全範囲の理解を深められる復習について指導する。本校の無回答率の低さから、意欲的に問題に取り組む姿勢が見られた。今後も、生徒が前向きに学習に取り組む授業を進めていく。

＜数学＞

幸いにして、授業に関する独自のアンケートでは、授業について「わかりやすい」と「まあわかりやすい」を合わせると86％の回答を得られているので、そのことを生かしていきたい。

＜理科＞

4単元のどれについても大阪府平均を越えているが、「粒子」の単元の得点率が平均に近く、化学分野の学習で指導の改善によりまだ伸びる余地があると考えられる。また、本校の無回答率は大阪府に比べて低く、意欲的に問題に取り組む姿勢が見られた。今後も、前向きに学習に取り組める授業を展開するよう努力していく。

＜英語＞

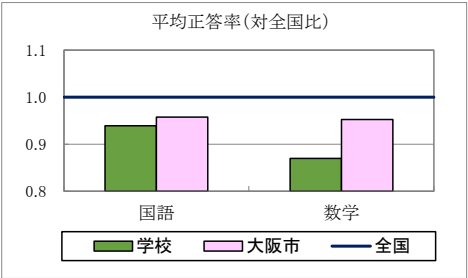
選択肢の問題では正答率が高いが、英文の内容の要点を把握する問題、記述式の問題の誤答、無回答率が目立った。特に『書く』問題に課題を感じるため、様々な場面やトピックで状況を説明したり、自分の考えを述べたりできるようにライティング指導に注力していく。

令和7年度 加美南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

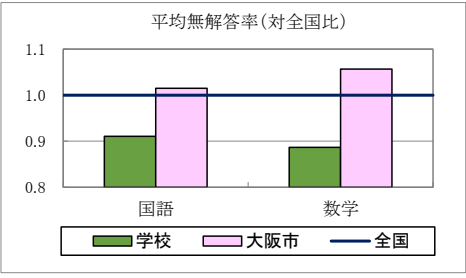
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	51	42
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

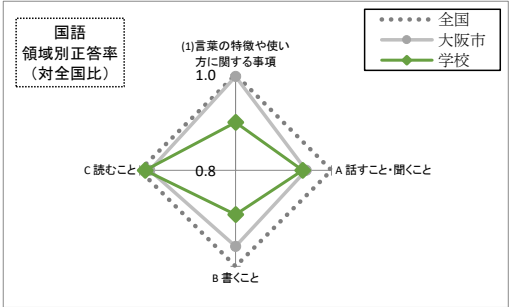
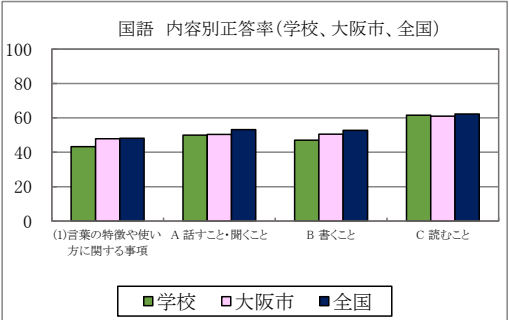


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	6.1	9.4
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



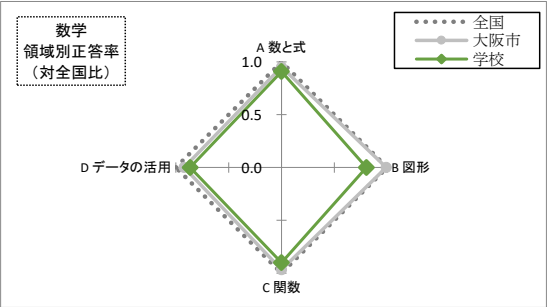
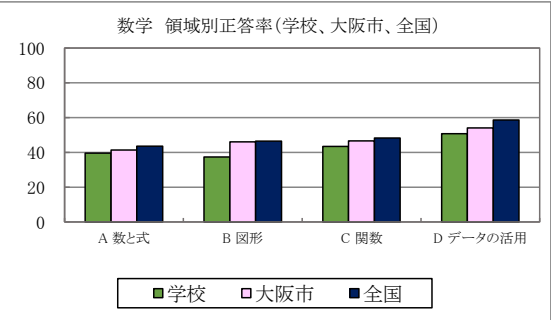
【 国 語 】

学習指導要領の 内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	43.3	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	50.0	50.4	53.2
B 書くこと	5	47.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	61.6	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	39.5	41.4	43.5
B 図形	4	37.4	46.1	46.5
C 関数	3	43.4	46.6	48.2
D データの活用	3	50.7	54.0	58.6

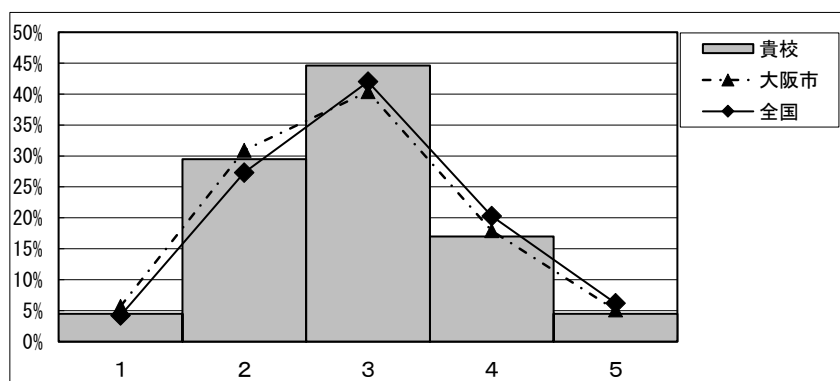
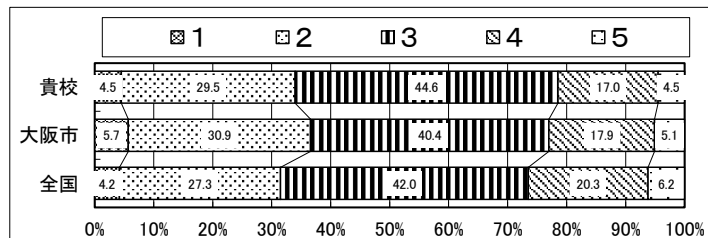


令和7年度 加美南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	487
大阪市	489
全国	503



令和7年度 加美南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

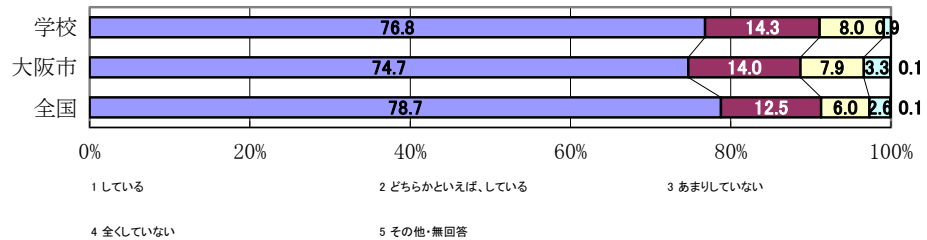
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

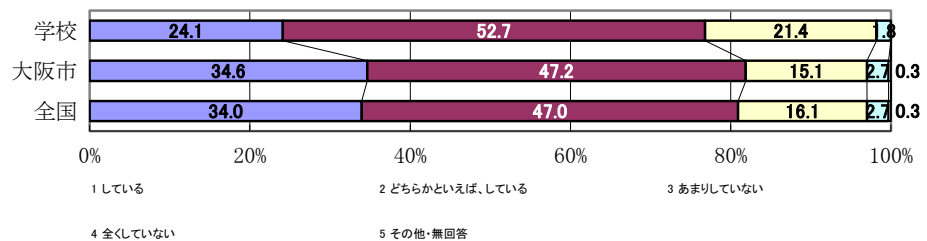
1

朝食を毎日食べていますか



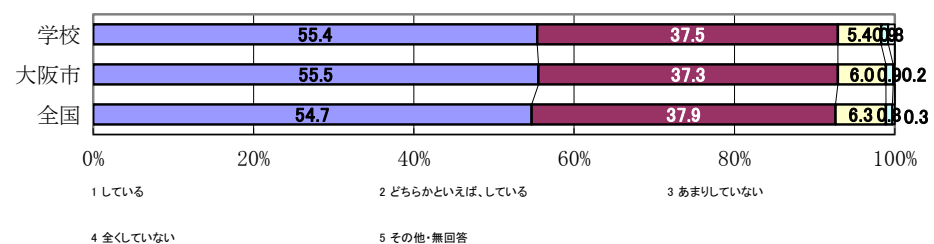
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



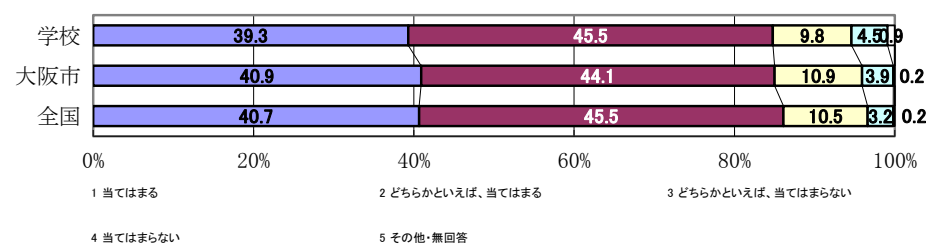
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



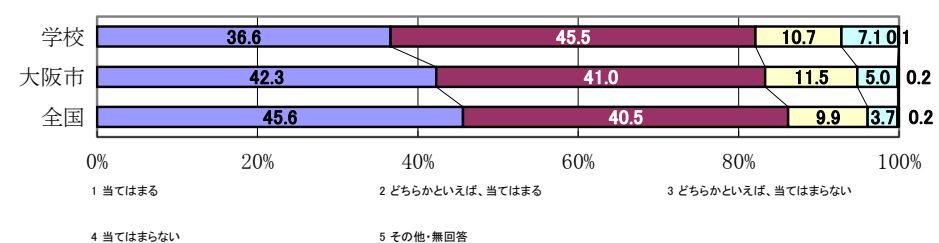
5

自分には、よいところがあると思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



令和7年度 加美南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

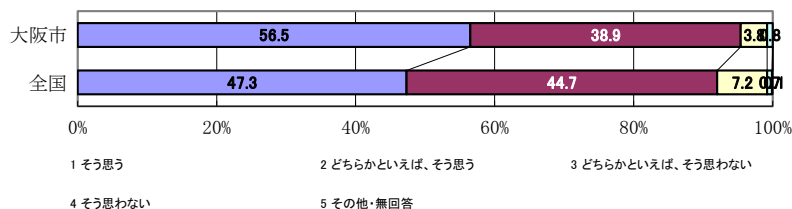
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

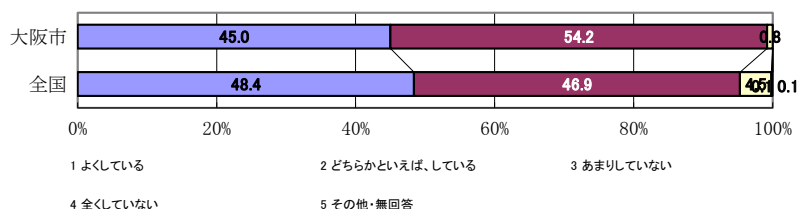
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

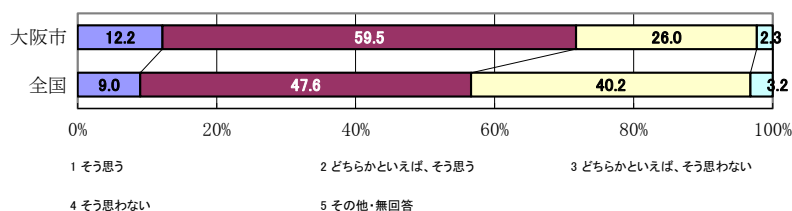
学校 「よくしている」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていますと思いますか

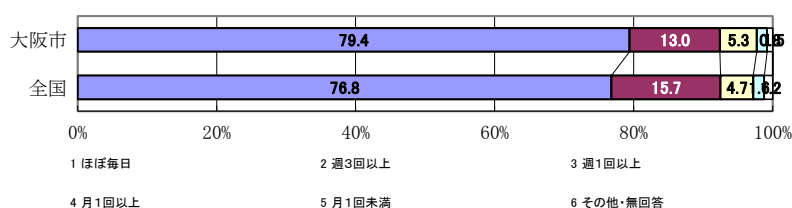
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



55

前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか

学校 「ほぼ毎日」を選択



58

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用)」を選択

